

令和5年5月号（2023年4月撮影）

1. 渥美半島・大山にて

ニホンアナグマ（食肉目イタチ科アナグマ属）体調は40 - 60センチメートル程度。尾長11.6 - 14.1 cm。



渥美半島の里山、大山を散策していると、登山道をゆっくりと降りてくる動物がおり、カメラを向けると、アナグマでした。冬眠明けなのかぼーとしているのか、私の目の前まで歩いてきて、慌てて穴に引き返していきました。見た目も行動もかわいらしい動物です。昔はタヌキなどとムジナと呼ばれていたようです。アナグマの使っていない巣穴をタヌキが使っていてそこから、「同じ穴のムジナ」といわれるようになったようです。



最近のアライグマなどがふえアナグマの生息数が減少しているそうです。本来は夜行性のようなので、昼に歩き回るのはあまりないようです。ちなみに日本アナグマは、日本の固有種です。